

## 平成 26 年度第 4 回もったいない学会理事会 議事録

日時：2015 年 1 月 26 日（月）13 時 00 分から 14 時 30 分

場所：東京大学 山上会館 201 会議室・202 会議室

<http://www.sanjo.nc.u-tokyo.ac.jp>

出席者：石井会長、大久保副会長、安藤理事、五十嵐理事、山本理事（以上 5 名）

欠席者（委任状提出者）：田村副会長、鈴木理事、辻村理事、林理事、松島理事（以上 5 名）

理事会開催に先立ち、理事総数 15 名のうち 10 名の出席（委任状提出者含む）があり過半数以上の出席があるため、定款で定められた理事会開催の要件が満たされたことが確認された。

また、議事録署名人として、大久保副会長と安藤理事が選任された。

### 【議事次第】

#### ■審議事項

##### (1) 前回議事録承認

- 前回理事会議事録（案）が示され、原案通り承認された。

##### (2) 役員からの辞任申し出について

- 旭岡理事退任の申し出を了承した。ただし、後任が決まるまではその職務を行わなければならないという定款の規定をご本人に確認することとした。
- なお、関連して役員人事に関するルールについて再度確認することとした。確認内容は、どのような手続きで辞めることができるのか（辞めたいのに辞められないという制度上の仕組みがあるのか否か）という点。

##### (3) 第 2 回学術大会の実施体制について

- 次回以降、「特集号」のような形で Web 学会誌との連動を検討することとした。
- インターネットの徹底利用が人数集めに功を奏したのではないかという意見が見られた。こうしたイベントを行う際には、人数集めが重要であり、最大のポイントとも言えるという点を確認された。
- その上で、質（中身・コンテンツ）をどのように向上させていくのかという点にも十分配慮すべき点を確認された。
- 反省点としては、準備のための時間が足りなかったという声もあった。
- 種々の議論の結果、松島理事、鈴木理事、山本理事の 3 名を、次回以降の「学術

大会検討チーム」とし、基本戦略と共に、実施体制案を作成し、提言書を理事会に提出することとした。

#### ■協議事項

##### (4) 第1回学術及び活動報告大会の報告

- 謝金金額は、今後、学会統一ルールを守ることを原則とする旨確認された。
- EAJの共済分担金の内訳は、嘉田様の講演謝金補助費20,000円と会場借り上げ費補助20,000円である旨確認された。

#### ■報告事項

##### (1) 会員・会費状況

- 学術大会が入会者を増やすという点において、一定の効果があったのではないかという意見があった。

##### (2) サロン関連

- サロン担当理事を検討すべきという意見があった。人事については、次回以降の理事会に持ち越しとなった。

##### (3) メール審議確認の件

- 確認されなかった。

##### (4) 各部会・研究会の活動報告

- ・自然との共生社会フォーラム
- ・低エネルギーWG
- ・WEB会誌
- ・エネルギーの科学研究会
- 活動していないことが報告された。

#### ■その他

##### (1) 次回理事会開催日程について

- 次回理事会は3月中のいずれかで調整することとなった。

以上

この議事録が正確であることを証します。

議長 石井 吉徳 印

議事録署名人 大久保 泰邦 印

議事録署名人 安藤 満 印